



★取材協力していただける  
グループさん、ご連絡下さい★  
モニタリング活動はもちろん、  
油ヶ淵に関連する活動・イベント  
情報をお寄せ下さい！



## 目次

- モニタリング活動報告
- 西端小学校訪問授業
- 油ヶ淵流域水環境モニタリンググループを取材しました！
  - ① 根崎町内会
- ちょこっとコラム
- おでかけスポット  
「造船・乗船会&体験教室」
- 連載 測定方法見せちゃいます①SS編
- 水質パトロール隊大募集！
- 担当者紹介

## モニタリング活動報告(5月分)

- 田植えの準備か？濁り水です。【西海川】  
○ 代かきが始まり水が灰色です。透明度がない。水藻の下をタモで掬うとアメリカザリガニ3匹、やこ3匹、カワニナ多数。【準道田川・上流】
  - 水量…いつもの2倍。白濁大…田植え、シロカキの為。【明治用水横】
  - 田水流入。【準稗田川・テンスー合流部】
  - 長田川…濁りが強い。普段は大きな鯉がいるのだが魚影なし。川底は見えない。水田の代掻き排水の流入と思う。【下橋】
  - 前日の雨の影響で水が濁っていると思われる。【準沢渡川】
  - 本日は風が強いので湖面に波あり。浮葉が大きく揺れている。【下池・西岸(病院横)】
  - 田の水が入り透明度はありません。【稗田橋下流左岸・都下】
- ★今回は田植えの時期でしたので、濁りが強いというコメントが多かったです。

# 西端小学校訪問授業



透視度、ばっちり合わせることができました！

碧南市立西端小学校では、「西端小学校エコクラブ」が油ヶ淵流域水環境モニタリングを行っています。新年度でメンバーが代わるため県と碧南市の職員が訪問し、モニタリングの説明を行いました。

この小学校は、創立140年の大変歴史ある学校で、元々は現在の応仁寺にあったそう。クラブメンバーに「油ヶ淵に行ったことある人！」と聞くと、全員が拳手！昔も今も油ヶ淵に馴染みのある学校なんです。主にCODと透視度の実習を行いました。皆さん元気いっぱい取り組んでくれました。1年間のモニタリング、よろしくお願ひしますね。

また、西端小学校エコクラブでは、「フッチーほたる会」の協力のもと、平成8年から毎年ホタルの幼虫を育てて放流する活動を行っています。放流先は、油ヶ淵遊園の「ほたるの里」。訪問時は、幼虫は既に川に放流した後だったので見られませんでした。訪問時は、水槽の水を循環させる装置があったり、水は井戸水を使用していたりと、とても本格的！碧南市職員の方の話によると、西端のあたりは、昔は用水が多く、ホタルの数がとても多かったそうです。今年は育てたホタルが飛び交う姿が見られるといいですね。

西端小学校にはエコクラブを始めとする様々なクラブがありますが、地域の方の指導が熱心で、地域とのコミュニケーションが活発であるのが特色の一つだと思います。児童の今後の活躍に期待しましょう！（鈴木）



左上の蛇口が井戸水、右上が循環水。下の管から水槽の水を抜きます。本格的！

# 油ヶ淵流域水環境モニタリンググループを取材しました！

## ① 根崎町内会

現在、油ヶ淵及びその流域河川では、行政と市民団体20グループが水質のモニタリング調査を行っています。これから1年間、活躍されているモニタリンググループを取材していきます！記念すべき第1回目は安城市内で活躍中の「根崎町内会」さんです♪

5月10日（金）、この日は曇り時々小雨。初の取材でときどきしながら安城市のコミュニティバス「あんくるバス」に揺られること約40分、安城市根崎町に到着しました。「根崎町内会」のメンバーは杉浦さん、石川さん、榎原さんの3人。皆さんとても家の近い近所さんです。皆さんは平成17年度のこのモニタリング事業を開始した時から続けているベテランさん。調査ポイントは4カ所で、皆さんのご自宅から車で5分ほどの近い川です。



「今日は水が少なくて汲みにくいなあ」「落ちるなよー落ちたら水門閉めるぞー」時に冗談を交わしながら楽しく調査されていました。

軽トラックで移動して、いざモニタリング調査開始。皆さん慣れた手つきで採水、透視度、COD・NO2パックテストと次々にこなしていきます。杉浦さんが記帳係、石川さんが透視度係、榎原さんがCOD係のようです。「今日は一段と水が濁っているなあ。」「田植えの影響だなあ。」「雨の影響もあるかもしれない。」「川の様子を見ながら和気あいあいと調査をしていました。」

「昔と比べて川の様子は変わりましたか？」と質問すると、「水は徐々にキレイになっていますよ。以前は川を観察していると、上流から油膜が流れてくることもしばしばあ



ったそうですが、そのようなこともほとんどなくなつたとのこと。「でも、自分たちが子ども頃は川に入って遊べたが、今の川はまだ遊べないなあ。」親しみやすい川とはまだ言えません。

「若い人たちに、もっと関心を持ってもらって水環境をよくしていきたい。このモニタリング調査も若い人たちを巻き込んで、次の世代に繋げていけるのが一番。」という皆さんのメンバーの中には8歳に近い方もいらつしゃいます。若い方を中心にもっと多くの方々にこのモニタリング調査に参加してもらい、身近な水環境について考えるきっかけになってほしいのは我々の思いでもあります。

「根崎町内会」の皆さんは非常に気さくで緊張していた私も終始楽しく取材を行うことができました。ありがとうございました！

（鈴木）

おまじゅう  
コラム

「ふちもに情報局」新編集担当の鈴木です。生まれも育ちも名古屋の私が油ヶ淵デビューを果たしたのは、湖内モニタリング調査の時でした。そこで見た驚きの光景は：モーターボードの脇をびよんびよんと跳ねるボラ！水辺に馴染みのない私にはとても衝撃的な出来事でした。年数回はボートに乗り上げてくるそうです。油ヶ淵漁業協同組合さん曰く、ボートのスピードが速いと、ボラの泳ぐ（跳ねる）スピードも速くなり、その勢いでボートに飛び込んできたボラに体当たりされて脳震盪を起こすこともあるそう。そんな話を聞いている最中、早速一匹の大きなボラが乗り上げてきました。うーん、恐るべしボラ…。

↓早速飛び込んできたボラ







第6回 油ヶ淵葦船学校 2学期

## 造船・乗船会&体験教室

日時 7月20日(土)  
21日(日) 9時〜

場所 勤労青少年水上スポーツセンター、油ヶ淵

内容 7月20日(土)  
葦船の製作

7月21日(日)

葦船の乗船会と体験教室(無料)

主催 油ヶ淵美化ネット・油ヶ淵葦船学校  
☎090-3584-4644

今年で6回目の油ヶ淵葦船学校。7月21日は、20日に製作した葦船と、過去に製作した葦船3隻の合計4隻で乗船会を行います。様々な体験教室も開かれますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください!



# 連載 水の測定・分析見せちゃいます ①SS編

モニタリンググループさんが油ヶ淵流域でモニタリングをされる頃、県や市は油ヶ淵湖内でモニタリングを行っています。

その水は一体どのように測定・分析されているのでしょうか？

このコーナーでは、様々な測定や分析を専門に行う県の研究機関「愛知県環境調査センター」の測定・分析の様子を特別に見せちゃいます!!



ろ過器。青のハサミの間にろ紙が敷いてあるよ。



ろ過した後のろ紙を見てみると…茶色い!これが油ヶ淵の濁り。上の段が下池で、下の段が上池。



いよいよ測定。さて、今月の値はいくつかな? 結果はHPを見てね!

### 【SSって何?】

SS(エスエス)とは、「浮遊物質量(suspended solids)」の略で、水に溶けていない物質による汚れの程度を表す、水質指標の一つです。一般的に、濁っている水はSSの値が高いことが多く、透視度(水の濁りや着色の度合)が下がります。

### 【測定方法は?】

- ① 採水した水をろ過器を使ってろ紙に通します。ろ紙の目の細かさはあらかじめ決まっており、この目を通過できなかった物質がろ紙上に残ります。
- ② ろ紙に含まれた水分を除去するため、乾燥器で乾燥させます。
- ③ 乾燥器から取り出し、はかりで重さをはかります。この重さと、予め測定しておいたろ紙の重さの差からSSの値を求めます。

# 水質パトロール隊大募集!



わたしたちが家で使った水がどこに行くのか、近所の川や池がどのくらいよれているのか、身近な水のこと、調べてみませんか?

「水質パトロール隊」は、県からお送りする調査マニュアルとCODの水質簡易測定試薬を使って、川の水のよれぐあいや、水辺の生きものの調査などを行っていただく取組です。調査結果は、レポートにまとめて提出していただき、優秀な活動を行ったグループを表彰するとともに、Webページでもご紹介します。

「水質パトロール隊」は、県内の小中学生を対象とし、ご家族、ご近所、学校、NPO、企業など、どのようなグループでも参加できます。みなさんのご応募、お待ちしております!



愛知県環境部水地盤環境課  
調整・生活排水グループ  
TEL 052-954-6219  
FAX 052-961-4025  
E-mail  
mizu@pref.aichi.lg.jp

## 【対象】

県内にお住まいの小中学生のグループ

## 【応募方法】

参加申込欄に必要事項を記入し、郵送・FAX・電子メールにより、お申込みください。

## 【募集期間】

平成25年6月14日(金)

参加者は先着順で受付しますので、お早め!\*

\*詳細は、Webページ

(<http://www.pref.aichi.jp/0000059755.html>)

をご覧ください。担当までお問い合わせください。

# 担当者紹介

水地盤環境課長 鈴木利典

4月から協議会事務局を担当させていただきます。愛知県唯一の天然湖沼である油ヶ淵は水質に改善傾向がみられないものの、環境基準を達していない状況です。昔から憩いの場として親しまれた油ヶ淵を取り戻すよう、皆様方とともに様々な活動を積極的に進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

新体制になった油ヶ淵水質浄化促進協議会の担当を紹介します!

水地盤環境課調整・生活排水グループ

技師 鈴木絵理

(「ふちもに情報局」編集担当)

初めまして。今年度から担当になりました鈴木絵理です。私は生まれも育ちも名古屋で、今まで油ヶ淵どころか西三河地方に馴染みがなかったのですが、これから積極的に現場に足を運んで市民の皆様と共に良い油ヶ淵について考えていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

## 次号予告

油ヶ淵では以前から養鰻業及び鰻の漁獲が行われてきましたが、近年全国的に鰻資源の枯渇化が進み、平成25年2月にはニホンウナギが環境省発表のレッドリストで「絶滅危惧種IB類」に指定されるなど問題になっています。次号では、そんな鰻資源の保護に力を入れている油ヶ淵漁業協同組合さんの取組を大特集します★

油ヶ淵流域市民モニタリング  
ふちもに情報局  
vol. 58  
平成25年5月発行

発行  
愛知県環境部水地盤環境課  
調整・生活排水グループ  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1-2  
電話:052-954-6219  
Mail:mizu@pref.aichi.lg.jp